

◆産学連携の研究開発成果3例
さいたま市産業創造財団 20日14時から
新都心ビジネス交流プラザ(さいたま市中央
区)で「産学連携タスクフォース事業成
果発表会」を開く。東京理工舎(同校区)
と東京電機大学など共同研究を通じた研究
開発人材の成果3例を発表する。参加は産
学連携や補助金などの支援施策を活用した
中小企業が対象。事前申込制で参加無
料。交流会は1000円(消費税込み)。問い
合わせは同財団産学連携支援センター(埼玉
048-857-3901)へ。

◆次世代イノベーション創出支援先に19件
東京都と東京都中小企業振興公社「20
19年度次世代イノベーション創出プロジェ
クト2020」支援プロジェクトとして、内藤
ハウズ(東京都千代田区)の「意匠性を高
める耐力壁を用いたシステム建築の開発」
などが全19件を決定した。今後、22年12月31
日までの最大3年間、助成限度額800万円
(助成率3分の2以内)の支援を行い、都
内産業の礎となる技術や製品の創出を支援

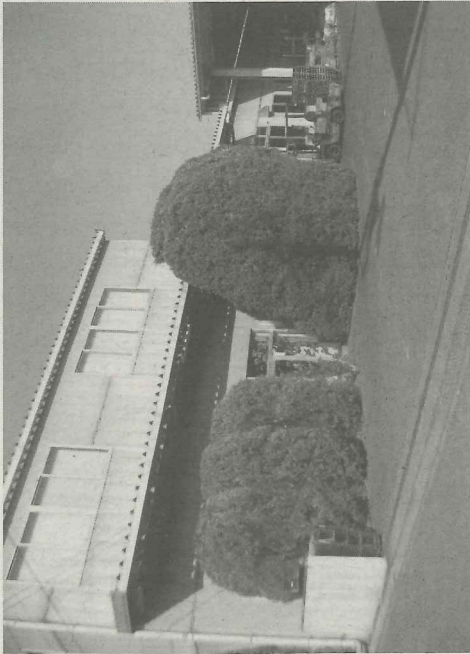
東口

トラック・バス部品新

北原製作所 生産1.5倍年

【前橋】北原製作所(群馬県伊勢崎市、北原康男社長、0270
・25・1343)は、本社近くにトラックやバス用部品などの新
工場を建設する。今春にも完成し、年内に本格稼働させる予定。既
存工場に次ぐ3番目の拠点で、フル稼働した場合の生産能力は現
状比1.5倍程度に向上する。既存工場と合わせて全体の生産体制
を最適化し、両部品の量産増に備える。

3拠点目 効率的体制構築



北原製作所はトラッ
クやバスなどで使うエ
ンジンやトランスミッ
ション部品を主力製品
とする。建設機械や農
業機械の部品加工も手
がけており、複雑形状
の精密加工を得意とし
ている。
本社の敷地内にある
第1、第2工場が手狭
になってきたことを踏
まえ、新拠点の設置を
決めた。
本社近くに建設中
の新工場は敷地面積が約
2800平方メートル。建屋
の面積は約1300平方
メートル。敷地内には工場
のほか、試作品の生産

ビジネス案 塚本に大賞

ベンチャー
クラブちば

【千葉】ベンチャー
クラブちば(千葉県船
橋市、板倉正典会長、
千葉県産業振興センタ
ー理事長、0477-4
26-9200)は、
第36回ビジネスプラ
ン発表会「あすのちばを
支えるビジネスチャ
レンジコンテスト」の大
賞に塚本(千葉市中央
区)を選定した。

同社は免震装置を搭
載した燃料備蓄タンク
を開発している。燃料
温度の上昇を抑制でき
るほか、設置面積を他
社の従来商品と比べて



表彰を受ける塚本恭夫社長

ABCロジテムは主
に北関東で製造された
テムなどを導入した。
最大でトラック100
台、従業員200人規
模の操業を計画する。

食品の物流事業を手が
け、宇都宮市と栃木県
壬生町に冷蔵・冷凍品
に対応した物流拠点を
持つ。19年3月期の売
上高は約66億円。

ダーは犬や猫など動物
の体内に注入されたマ
イクロチップの情報を
読み取る機器で、迷子
ペットの飼い主探しに

役立つ。
同日、県庁で開いた
贈呈式でNITTOK
Uの近藤進茂社長(写
真左)は、主力のこイ
ル巻線機で培った



「巻く」技術を
生かした」と述べ
た。
同社は同機のほか
が、動物用マイク
ロチップやリーダー
も製造する。

受講
申込書

無料
受講料

無料

業セミナー

中小企業向け

お申し込みは FAX 03-5644-7215

補助額1,000万円!